

【連載】

桜町今昔物語

③

〈成長期Ⅱ昭和二十五年〜三十五年〉
 前号でも触れましたが、昭和十八年に賀陽宮（かやのみや）妃殿下が母校台臨の折、その記念として「弟橘媛（オトタチバナヒメ）」の像が建立されました。



現在の千葉県茂原にある、橘樹神社をはじめとして、横須賀や二宮、川崎市高津区にも由来のある神社があります。

「さねさし坂向（さがみ）の小野の燃ゆる火の火中（ほなか）に立ちて問ひし君葉も」【註・相武国造に騙され火責めに遭った時に私の心配を下さった貴方】の和歌には弟橘媛の夫である倭建命（ヤマトタケルノミコト）への熱い思いが込められています。倭建命が東征途上、今の横須賀から千葉に船で渡る際、波が荒れ狂い困難を極めたとき、（皇子の東征を護らせ給え）と念じ、入水して海神の怒りを鎮めたことは有名な話として伝えられています。

無事に千葉に到着した倭建命は、いまの太田山公園・太田山から弟橘媛の運命を悲しみ、しばらく立ち尽くしたとのこととです。その由来から「君去らず」（木更津）の地名が生まれたといわれています。また、弟橘媛の着衣の片袖が流れ着いた浜が「袖ヶ浦」の地名由来となっています。

校歌四番の歌詞にもありますように、「安らけき国おこさむと」勉強素養を尽くしてきた母校の学びは、弟橘媛の像とその祈りの中に長く受け継がれてきています。校庭の石仏と共に、小さな御姿なれどその大志は高く、想いは深いものなのでしょう。

その母校の象徴とも言えたのが、校庭に春を爛漫と彩る桜、そして三本の櫻の大樹でした。

大正二年に分譲地として開発が始まった玉川電車新町駅（現在の桜新町駅）に植樹された桜並木は、現在の深沢あたりに桜トンネルを形成しました。

母校校庭に咲き誇る桜もその一環として多くの新入生を迎え、卒業生を送ってきました。

その桜も老齢化して枯れたり、弱ったりしてきたため、桜友会では新樹の植え替えなどを行い、美しい姿を絶やさない努力を続けています。



校歌一番「花の木の間の桜町」同じく四番の「冬櫻こずぬ細きに昼の月」に見られるように、華やかながら繊細に散りゆく桜と、冬の大地にしっかりと立つ力強い櫻は、桜町高校のこころそのものでありましょう。

桜町高校はこの時期多彩な校内外活動・文化活動に活躍してきました。

昭和二十六年にはバレーボール・陸上・軟式テニス・ハンドボールが憲法大会で優勝。翌年も憲法記念都民体育大会総合一位、昭和二十四年以来四年連続優勝を達成。昭和三十年にも総合優勝しました。

昭和三十一年高校野球予選に初出場、国体予選出場などスポーツ活動が盛んに行われていました。

一方で文化活動では、演劇班が都演劇コンクールで毎年のように上位入賞を果



たし、書道班も全国学生競書大会に於いて読売新聞社賞受賞等充実した活動が続けられていました。

昭和二十五年には百五十名の男子が入学、暖房施設が入り、昭和二十七年には水道施設、同二十八年図書館完成、昭和三十年体育館渡り廊下・正副門等完成、同三十一年に学生食堂誕生、職員室前サロン完成・生徒会館完成、と施設インフラ整備も進み、昭和三十三年に創立二十周年記念行事が開催されました。母校の礎が固まり、先人の苦勞の結果、二十年の節目を迎えたのです。

世の中は、この頃から経済高度成長期に入っていきます。新制都立桜町高校誕生から十年の飛躍を迎えたのです。

【本文中の一部の写真・資料は、桜町五十年記念誌より引用しています】



寄付金・けやき基金をお送りいただきまして、ありがとうございました。

（平成29年5月31日現在）

お送りいただいた各位のご芳名を掲載させていただきます。
 （カッコ内は卒業年度。敬称略）

<寄付金>

- 鈴木幸子（女1） 藤田福子（女1） 千野 國（女3）
- 久保典子（女4） 三村朋子（女4） 鈴木千鶴子（女5）
- 愛知淑子（女6） 美谷島久子（女6） 神田孝子（高1）
- 大野節子（高4） 國松容子（高4） 川畑敏子（高4）
- 高木玲子（高4） 清水弘子（高4） 小笠原美恵子（高4）
- 窪田京子（高4） 菅原扶美（高6） 鈴木淑子（高6） 平野キヌ子（高7）
- 阪本まさ子（高7） 伴重良男（高9） 三橋玖美子（高9） 10回生G組クラス会
- 岩城かほる（高10） 松田光代（高11） 篠塚英子（高13） 大山恭子（高13）
- 増田昭子（高13） 小田代三和子（高13） 櫛田真昭（高14） 吉村千恵子（高15）
- 藤田知之（高16） 安田 生（高17） 岡林節子（高18） 岡本千恵子（高19）
- 田中 博（高20） 御厨素公（高20） 松本薫（高22） 冨田早苗（高25） 匿名（高26）
- 小松崎儀春（高26） 山根明則（高26）

<けやき基金>

- 上邑真左子（女1） 森 郷（女3） 野口あい子（女4） 荒木日出子（女4）
- 愛知淑子（女6） 中村道子（高3） 谷川佐和子（高3） 宮澤朋子（高3）
- 鈴木幸子（高3） 川畑敏子（高4） 慶田美智子（高4） 田中妙子（高6） 鈴木淑子（高6）
- 山岸浩子（高7） 井上磨津美（高10） 服部能子（高12） 新原洋子（高12）
- 重成真知子（高12） 大山恭子（高13） 青山浩子（高14） 吉村千恵子（高15）
- 山本裕子（高16） 岡部泰子（高16） 波田野智優美（高16） 氷見雅子（高16）
- 河原慶二（高17） 福本健一（高18） 福居明夫（高18） 福居美恵（高18）
- 棚橋明美（高20） 松本 薫（高22） 山根明則（高26） 柳原裕彦（高27）



特別終身会費について

桜友会では、会則により卒業後20年を経過した会員の方から、特別終身会費を納入していただいております。

特別終身会費は、桜友会の健全な発展と維持のために使用されておりますが、納入していただいていない会員の方も多いようです。

会員皆様のご協力をお願い申し上げます。

- ◎ 1口 3000円以上
- ◎ 同封の振込用紙にてお振り込みください。
- ◎ 振込料は無料です。卒業回数・クラス・旧姓・住所コード番号、などの記入をお忘れなく。

なお、発送作業の都合上、すでに会費を納めていただいた方にも振込用紙が同封されておりますが、納入は、1回限りで完了となり、桜友会データバンクに記録されておりますのでよろしくご配慮ください。